

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	理念に謳うように、地域を意識した取り組みを展開中である。前ホームと交流があった地域の住民（農家）は、新ホームでは畑作指導や推進会議メンバーとしての支援を約束してくれている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	昨年の6月に現ホームへの移転があり、多忙を極めたため、運営推進会議を開くことはできなかった。新年度開催に向け、メンバーの選定が大詰めを迎えている。	×
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	今年度、町の担当者が交代した。新任担当者であることから、相談や質問に対する素早い対応は無かったが、いつも調べてからの確な回答が来た。町内のグループホーム事業者で構成しているグループホーム連絡会には、町の部・課長レベルの参加があるため、グループホーム事業者の意見や要望を伝える絶好の場となっている。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	「お手紙」が毎月家族のもとに届けられ、利用者の様子が伝えられている。家族アンケートでは、家族の満足感やホーム（職員）との信頼関係が十分に見て取れる。ただ、ホームの移転が影響し、家族会を開くことができなかった。家族の意思・希望の表出にユニット間で差異があり、家族アンケートの回答率にも大きな差が出た。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	×
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>別々のグループホームを統合して2ユニットのホームができた。引越しの整理や手続きが繁忙を極め、会議開催はできなかった。 新しい土地への移転に伴い、運営推進会議のメンバーも総入れ替え（一部は再任）となるため、メンバーの選任を行っている。</p>

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	<p>(例示)</p> <p>自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。</p> <p>地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。</p>
3. 運営推進会議を活かした取組み	<p>(例示)</p> <p>運営基準第85条の規定どおりに運用されている。</p> <p>運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。</p>
4. 市町村との連携	<p>(例示)</p> <p>運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。</p> <p>市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。</p>
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	<p>(例示)</p> <p>家族会を定期的（年2回以上）に開催している。</p> <p>利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。</p> <p>家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。</p>

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。